

とほにゃん発祥の地 滋賀で明かされる誕生秘話： あるいは図書館施設におけるマスコット キャラクターの活用と展開

大谷裕¹⁾、土肥加代子²⁾

¹⁾ 東邦大学医学メディアセンター、²⁾ 株式会社サンメディア

東邦大学では 2012 年より、メディアセンターのマスコットキャラクターとして三毛猫の「とほにゃん」を活用している。「とほにゃん」は MIS28 京滋大会（2011 年）の夜に、当時、東邦大学が導入準備を進めていたディスカバリーサービス「Summon」を学内にアピールするための手段を、契約代理店のサンメディアと相談していた折のふとした会話から誕生したものである。

本発表では、とほにゃんの誕生から現在にいたるまでの 15 年の活動を報告する。

1. とほにゃんのあゆみ

(1) 黎明期（2011 年～2012 年）

- ・発端は 404 not found アイコン：とほほのとほにゃん
- ・なぜ猫なのか：ひこにゃんと東邦キャンパスねこ「モフ夫先生」
- ・ファーストリリース：Summon アイコンと解説マンガ

(2) 普及期（2012 年～2015 年）

- ・メディアセンターグッズの作成・配布（クリアファイル、付箋）
- ・メディアセンター広報での活用

(3) 成熟期（2015 年～）

- ・教職員からの利用申請
- ・メディアセンターとサンメディアによる「とほにゃん」使用についての覚書取交し
- ・「とほにゃん利用申請サイト」の設置

2. キャラクターとしてのとほにゃん

(1) デザイン

丸みのあるフォルムとやさしい表情が特徴で、親しみやすさと安心感のあるキャラクターデザイン。白を基調としたシンプルな造形に、衣装や季節モチーフを組み合わせた豊富なバリエーション展開により、図書館の広報に統一感とフレンドリーな印象を与えている。

(2) 設定

とほにゃんは性格、性別、生い立ち、生活環境といったプロフィール設定を一切持たない「白紙」の存在である。これにより「利用者ごとの自由な解釈」、「アイコンとしての認知度向上」、「運用のしやすさ」が生まれ、多くの人に親しまれている。